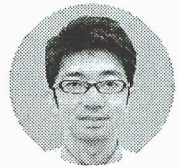


【問】 今度、白内障の手術を受けます。友人たちは、「日帰りで10分弱で簡単」「失明した人もいるので、侮ってはいけない」と両極端のことを言います。どちらが本当でしょうか。最新の情報を教えてください。
(女性、73歳)

白内障手術



佐藤寛之医師

人工レンズで視力回復

数があり、近視や遠視のピンぼけを改善させることができます。

【答】 白内障の手術は通常

10〜15分程度で、日帰りでも受けられます。比較的安全性の高い手術治療です。

眼球内には物を見る際のレンズとなる「水晶体」があり、こ

通常、まず麻酔薬を点眼し、

黒目の縁を約3ミリ切開。薬剤や水を注入し、超音波を発生させる治療器具で水晶体を破碎、吸引します。その後、小さく畳んだ眼内レンズを挿入。痛み

はほとんどない方が多いです。患者さんの立場から見ると「簡単」または楽に受けられる手術になつてきましたが、医師の

立場からは簡単ではなく高い技術力、観察力が必要の手術です。片目の場合、費用は公的医療保険の3割負担で約4万5千円です。

れが濁るのが白内障です。60歳以上なら、ほとんどの方が濁ります。目がかすむ▽まぶしく感じる▽物が二重に見える▽などの症状が出てきます。

一般的な眼内レンズはピントが調整できないので、眼鏡も必要です。ただ、近年は遠近2力所でピントが合う眼内レンズも登場。自費診療で片目で30万〜40万円と高額ですが、治療の質

を高める選択肢になります。

手術後、特に注意が必要なのは眼球内で感染症が起こる眼内炎です。最悪の場合、失明の恐れ

このコーナーに相談したい具体的な症状をお寄せください。採用分について医師が紙上でお答えします。
〒650-8571 神戸新聞社文化生活部。下記のファクス番号、メールアドレスでも受け付けます。住所、氏名、年齢、電話番号をお忘れなく。

病気の進行を遅らせる目薬はありますが、治すには手術しかありません。水晶体を除去し、代わりに人工の眼内レンズを入れます。この眼内レンズは眼鏡やコンタクトのように度

もあるため、抗菌の目薬を止しく点眼することが大切です。昨年、国内で出荷された眼内レンズは約130万枚。非常に身近な手術で、安全性は確立されているといえます。不安がらずにお近くの眼科専門医に相談してください。

(兵庫県医師会、佐藤寛之) 西宮市、サトウ眼科院長

金曜掲載